# 電算化による図書館業務の効率化とそれによる読書活動の活性化

群馬県千代田町立東小学校
武藤　摩奈美

## Ⅰ　主題設定の理由

本校は、全学年単学級の小規模校である。図書室には図書事務が常駐しており、１万冊を超える豊富な蔵書冊数を誇っている。にもかかわらず、２０１８年度の児童１人当たりの平均貸し出し冊数は、約３０冊であり、寂しい数字となっていた。これらのことから、図書室の実態と児童のニーズに乖離があると考え、図書館業務の効率化により、児童のニーズに応えるための物理的・時間的余裕を生み出す必要性を感じ、本主題を設定した。

## Ⅱ　発表の概要

### １　取組開始前の図書室の実態

#### (1) 本校の概要

- 群馬県南東部、利根川沿いの田園に囲まれたのどかな学校
- 全校児童数約１８０人、全学年単学級の小規模校

#### (2) 図書室の実態

- 図書事務が常駐
- 約６０万円の公費を活用した、１万冊を超える豊富な蔵書数

●2018年度、児童の年間貸し出し冊数の平均は約30冊・・・

- 本の貸し出し管理、蔵書の管理が手作業で時間がかかる

●休み時間が貸し出し処理だけで終わってしまう・・紛失図書も・・・

### ２　図書館業務の効率化

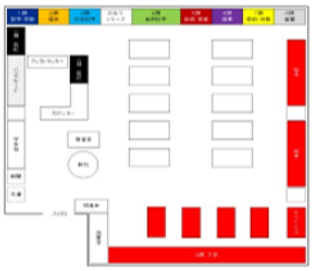
#### (1) TOOL-iS の導入

- 様々な面で業務の効率化につながった
  ①貸し出し、返却業務が簡略化
  ②蔵書状況がデータ管理され、把握が容易に
  ③システム上で購入図書の選書、発注ができる

図書事務と児童のコミュニケーションをとる時間が生まれ、児童が興味をもっている図書に対する情報収集を行うことができるようになった。

#### (2) 図書配架の大幅リニューアル

- 分類順に、図書室を囲むように配架
- カウンターを入り口正面に設置、返却する児童と借りる児童の導線を分ける



児童が、借りたい本を探しやすくなった。図書事務は、図書室全体を見渡せるようになった。

### ３　児童のニーズに応えるための取組

#### (1) 実態に合わせた別置配架

①新着図書コーナー
②Englishコーナー
③キャリアコーナー
④プログラミングコーナー
⑤DVDコーナー
⑥企画展示コーナー

(2) 購入図書リクエスト

(3) 各学年と連携した展示

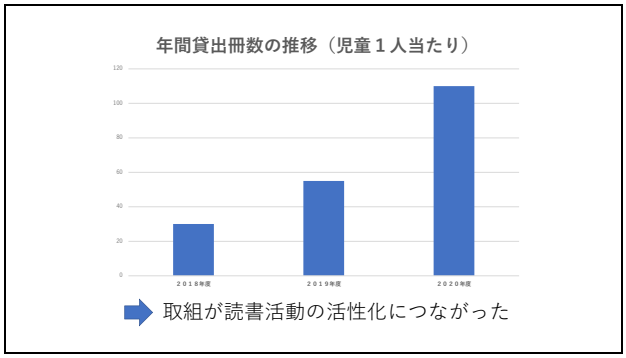
(4) 低学年児童への配慮

(5) 図書室のルール整備

(6) 児童の読書意欲を高揚する取組

2020年度の年間多読賞該当者は約100人であり、全校児童の半数が意欲をもって読書するようになった。

## Ⅲ 今後の課題




児童１人当たりの図書の年間貸出冊数が３年間で約30冊から110冊へと大幅に増加し、図書館業務の効率化は、本校の読書活動の活性化に間違いなくつながった。本校の在籍児童数は、今後更に減少していくことが予想されている。そうしたことを踏まえながら、購入図書をより精選したり、公共図書館と連携した取組を行ったりしていく必要がある。また、今回の取組は主に図書事務と図書館主任を中心に行われたものである。今後は、小規模校ということを強みにし、教員や児童を巻き込んだ、全校で作っていく図書室を目指していきたい。